

Studyaid_{DB} information vol.49

Studyaid_{DB} Ver.17 新機能のおさらい

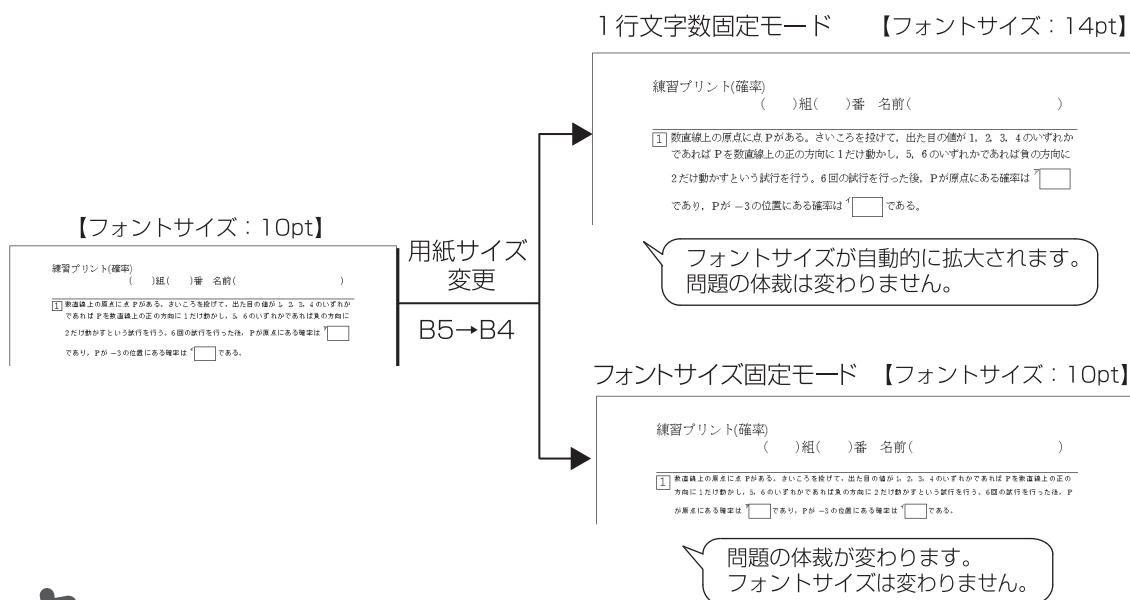
新課程 Studyaid D.B. (Ver.17) は、すでにお使いいただいていますか？
今回の Studyaid D.B. information では、Ver.17 の新機能の中から、予てよりご要望が多かった「フォントサイズ固定モード」についてご紹介いたします。

◇ 「フォントサイズ固定モード」とは…

Studyaid D.B. にはフォントのモードとして、「1行文字数固定モード」とVer.17 で新しく追加した「フォントサイズ固定モード」の2つがあります。

「1行文字数固定モード」では、用紙判型や余白を変更した際に、レイアウトした問題の体裁を崩さないように、自動的にフォントサイズが調整されます。Studyaid D.B. ならではの動作になります。一方、「フォントサイズ固定モード」では、用紙判型や余白を変更しても、フォントサイズは変わりません。問題の体裁が崩れる可能性はありますが、一般的なワープロソフトと同様の動作になります。

例) 「B5 段組なし」→「B4 段組なし」に変更する場合



📌 ご注意

- **モードについて**
一度、「フォントサイズ固定モード」に変更すると、「1行文字数固定モード」に戻すことができません。
- **ファイル形式について**
「フォントサイズ固定モード」に切り替えると、ファイル形式が*.prt から*.spr に変わります。この spr 形式のファイルは Ver.16 以前のシステムでは開くことができません。

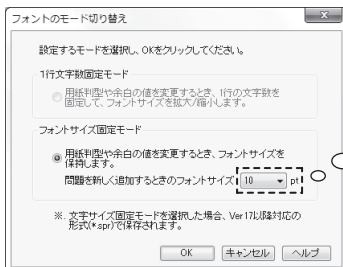
◇ 「フォントサイズ固定モード」に切り替えよう！

- ① [レイアウト編集]タブにある「モード切り替え」をクリックします。



- ② 「フォントのモード切り替え」画面が表示されるので、「フォントサイズ固定モード」を選択します。

また、「問題を新しく追加するときのフォントサイズ」で、標準で使用するフォントサイズを選択します。



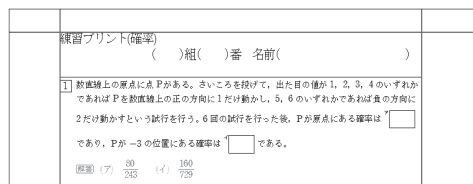
問題を新しく追加するときのフォントサイズだけでなく、レイアウト済みの問題のフォントサイズも、ここで指定したフォントサイズに切り替わります。

◇ 「フォントサイズ固定モード」活用例

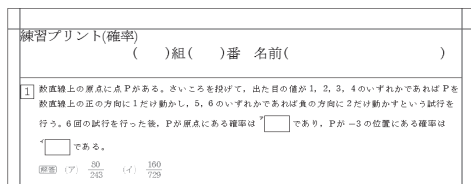
- 👉 その1：「フォントサイズ固定モード」ならレイアウトの調整が簡単！

従来の Studyaid D.B. をお使いの際に、「余白を狭めて、1ページにもっと問題を入れよう」としても、フォントサイズが大きくなって入らなかったということはありませんでしたか？

「フォントサイズ固定モード」では、余白を調整すると文章の折り返し位置が変わるので、より直感的にレイアウトを調整できるようになります。



【Before】標準の余白



【After】余白を狭くすると、文章の折り返し位置が変わった

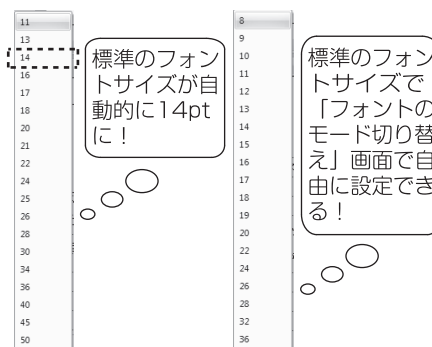
- 👉 その2：用紙判型や余白を問わず常に同じフォントサイズが使える！

レイアウトされる問題のフォントサイズが大きすぎたり小さすぎたりして困ったことや、フォントサイズを変更しようにも、適切なサイズがなくて困ったことはありませんか？

従来の「1行文字数固定モード」では、用紙判型や余白によって、標準のフォントサイズだけでなく、選択できるフォントサイズの範囲も自動的に決められていました。

しかし、「フォントサイズ固定モード」では、用紙判型や余白に関わらず、常に同じフォントサイズの範囲からお好きなサイズを標準サイズとして使用することができます。

【B4 段組なし・余白標準の場合】



1行文字数固定モード フォントサイズ固定モード

これまで設定不可能だった、「B4 段組なしの用紙スタイルで、10pt で問題をレイアウトする」といったことも可能です。



◆ こんなときは…

「フォントサイズ固定モード」を使用した場合、文章と図形が重なってしまうことがあります。そんなときには「文章配置」機能がオススメです！この機能では、図形の左側や右側に文章を自動的に回りこませることができます。「文章配置」も Ver.17 の新機能です。

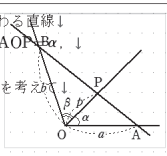
◆ Step1. 不要な改行を削除する

不要な改行があれば削除しておきます。

【Before】文章と図形が重なってしまっている。

練習プリント(三角比の応用)
()組()番 名前()

右の図のように、3つの半直線とこれらに交わる直線があるとき、 $OA=a$ 、 $OB=b$ 、 $OP=p$ 、 $\angle AOP=\alpha$ 、 $\angle BOP=\beta$ とする。↓
このとき、次の等式が成り立つことを、面積を考えて証明せよ。↓

$$\frac{\sin \alpha}{b} + \frac{\sin \beta}{a} = \frac{\sin(\alpha + \beta)}{p}$$



◆ Step2. 「文章配置」の設定を行う

図形を選択し、右クリックメニューの「文章配置」から「図の左」（もしくは「図の右」）をクリックします。

改行を削除し、文章配置を設定。

練習プリント(三角比の応用)
()組()番 名前()

右の図のように、3つの半直線とこれらに交わる直線があるとき、 $OA=a$ 、 $OB=b$ 、 $OP=p$ 、 $\angle AOP=\alpha$ 、 $\angle BOP=\beta$ とする。このとき、とを、面積を考えて証明せよ。↓

$$\frac{\sin(\alpha + \beta)}{p}$$


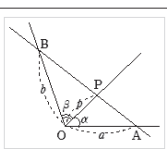
右クリックメニュー

- グループ化
- 順序移動
- 整列
- 文章配置
 - 指定なし
 - 図の左
 - 図の右
- 図形選択解除
- 中止(文章入力へ) Ctrl-Q

【After】文章と図形の重なりが解消された！

練習プリント(三角比の応用)
()組()番 名前()

右の図のように、3つの半直線とこれらに交わる直線があるとき、 $OA=a$ 、 $OB=b$ 、 $OP=p$ 、 $\angle AOP=\alpha$ 、 $\angle BOP=\beta$ とする。このとき、次の等式が成り立つことを、面積を考えて証明せよ。

$$\frac{\sin \alpha}{b} + \frac{\sin \beta}{a} = \frac{\sin(\alpha + \beta)}{p}$$


【複数図形選択のコツ！】

[文章]タブの「図形選択」ボタンをクリックして、マウスドラッグで選択したい図形の外側から囲むようにしよう！

※「図形選択」ボタンは、[図形]タブもしくは、図形選択時に表示される[編集]タブにもあります。

